

シリーズに挑戦してみよう！

このコーナーで紹介するのは楽しいシリーズ本。
読んでみておもしろかったら、シリーズ読破にも挑戦してみてくださいね☆



いろはにほん

～新しくておもしろい本、たくさん集めました！～



買った人の運命を変えてしまうふしぎな駄菓子屋を売る店「銭天堂」。どんな結末が待ってるかハラハラドキドキ。

『ふしぎ駄菓子屋 銭天堂 [1]』

廣嶋 玲子 / 作 jyajya / 絵
偕成社 913㊦



人に化けることができるきつねの、人間探求タイムトラベル。歴史の好きな人にもおすすめです。

『源平の風 白狐魔記 [1]』

齊藤 洋 / 作 高島 純 / 画
偕成社 913㊦



ジャックとアニーの仲よし兄妹を異世界へ連れていってくれるツリーハウス。次はどこへいくのかな？

『恐竜の谷の大冒険』

マジック・ツリーハウス 1』
メアリー・ポープ・オズボーン / 著
食野 雅子 / 訳 メディアファクトリー 93㊦



名探偵に憧れるカッレ君が、親友3人とともに活躍する本格冒険ミステリー。

『名探偵カッレ 城跡の謎』

アストリッド・リンドグレーン / 作
菱木 晃子 / 訳 平澤 朋子 / 絵
岩波書店 94㊦



『貸出禁止の本をすくえ!』

アラン・グラッツ / 著 ないとう ふみこ / 訳 ほるぶ出版 93㊦

教育委員会が決定した貸出禁止の本の中にはエイミーが大好きな本も！そこで友達と一緒に禁止になった本をロッカーに集めて小さな図書館を始めることに。

読書は スイスイコース でおまかせ！

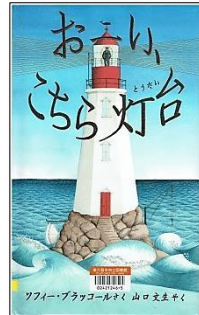
図書館からおすすめの本をしょうかいします。
楽しくてどんどん読めちゃう本ばかりです☆



いつもひとりでいるのが好きなハリネズミ。でも、もぐらに出会って「おともだちもいいな」って思うようになりました。

『しあわせなハリネズミ』

藤野 恵美／作 小沢 さかえ／絵
講談社 913フ



小さな島の灯台に新しい灯台守がやってきた。遠くまで光を送り海の安全を守る灯台守。絵がとてもすてきな本です。

『おーい、こちら灯台』

ソフィー・ブラッコール／さく
山口 文生／やく
評論社 Eア



仕立て屋のおじいさんの前に「やぶれたたいこを直してほしい」と鬼の子があらわれて…。おじいさんは直せるのかな？

『魔法のたいこと金の針』

茂市 久美子／作 こみね ゆら／画
あかね書房 913モ



悪い魔神にさらわれたキバラカの話など、巨人や魔法が出てくるアフリカに伝わる 13 の不思議な昔話。

『キバラカと魔法の馬』

さくま ゆみこ／編訳
岩波書店 S38



『桃太郎は盗人なのか?』

倉持 よつば／著
新日本出版社 38

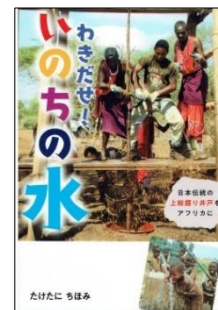
ある絵本で読んだ「桃太郎盗人説」を確かめるために、よつばさんは桃太郎の関連本をなんと200冊以上読んだそう。1つのテーマをとことん調べるっておもしろい!と思える本です。



『ふるさとって呼んでもいいですか』

ナディ／著
大月書店 J334.4

6歳の時、イランから出稼ぎ目的の家族と日本へ来たナディさん。周囲の助けを受けながら力強く生きる彼女の成長物語。移民と日本の関係を考えるきっかけに。



『わきだせ!いのちの水』

たけたに ちほみ／著
フレーベル館 51

千葉の伝統的井戸掘り『上総掘り』を習得したのち、アフリカで現地の人と一緒に井戸を掘り、その技術と安全でおいしい水を同時にとどける大野篤志さん。すごい日本人がいるんだな〜と感動します。

知ってビックリ!? ノンフィクション



『自分の力で肉を獲る』
千松 信也／著 旬報社 65

環境保護や仕事のためではなく、家族や友人と食べる分だけシカやイノシシをとっている著者。彼が「わな 猟」を始めた動機や、その具体的な方法が詳しく紹介されています。



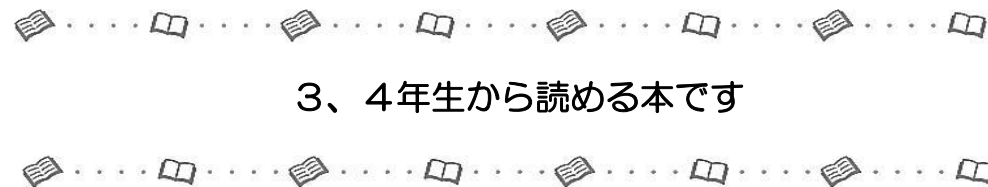
『はじまりはたき火』
まつむら ゆりこ／作 小林 マキ／絵
福音館書店 50

大昔は明るくて暖かいたき火、そして今は生活に欠かせないたくさんのエネルギーをつくり出している火。その役割と地球環境の変化がよくわかる科学の本です。



『草木とみた夢』
谷本 雄治／文 大野 八生／絵
出版ワークス 289 マ

一生を植物にささげ、日本初の本格的植物図鑑を作った牧野富太郎の伝記絵本。夢中になれるものを見つけることの大切さを教えてください。



3、4年生から読める本です



横浜のエミちゃんと、山口へ引っ越ししていったえりちゃんの楽しい文通。手紙に出てくるえりちゃんの畑の話がとってもおもしろい。

『あららのはたけ』
村中 季衣／作 石川 えりこ／絵
偕成社 913 ム



風太がいなかのおばあちゃんちから持ってきた本だのに、なんと小さいじいちゃんの「ザシキワラシ」がついていた!!!

『四年ザシキワラシ組』
こうだ ゆうこ／作 黒須 高嶺／絵
学研プラス 913 コ



村に住みついた嫌われ者のばあさんは、じつは美しい水の精でした…。すてきな精霊と、かわいい女の子のおはなし。

『精霊のなみだ』
湯湯／作 高野 素子／訳
平澤 朋子／絵 あかね書房 92 タ

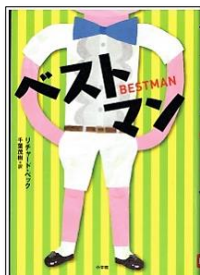


戦争で、たった1人中国に残された3歳の男の子。25年間大切に育てられたのち、日本に帰る夢を自力で成し遂げます。

『じいじが迷子になっちゃった』
城戸 久枝／著 羽尻 利門／画
偕成社 916 キ

読みごたえ たっぴりコース

5、6年生向きの本です。



『ベストマン』

リチャード・ペック／作 千葉 茂樹／訳
小学館 93ハ

結婚式でズボンがさけて恥をかいた幼い頃の僕。友だちのことや親のこと、いろんな事を経験して理想の大人「ベストマン」になれるかな。



『虹いろ図書館のへびおとこ』

櫻井 とりお／著 河出書房新社 913サ

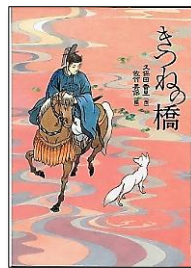
いじめで不登校になったほのかは「へびおとこ」が居る図書館へとたどり着く。そこで、様々な人や作品に出会い、ほのかの世界は変わり出します。



『昔はおれと同年だった田中さんとの友情』

椰月 美智子／作 早川 世詩男／絵
小峰書店 913ヤ

スケボーのできるとっておきの場所を見つけた6年男子3人組。そこで出会った田中さんというおじいさんと、ひよんなことから交流が始まります。



『きつねの橋』

久保田 香里／作 佐竹 美保／絵
偕成社 913ク

平安時代、早く手柄をたてたいとはりきる若いけらいの貞光は、橋で人をからかう白狐を捕まえに行くことに。賢くてかわいい狐と貞光の雅な物語。



『きつねの時間』

蓼内 明子／作 大野 八生／絵
フレーベル館 913タ

6年生のふみはママと二人暮らし。学校生活はいろいろ悩みはあるけれど、ママとはうまくやってると思っただのに、ママはパパのことをかくしてた…！



『チギータ!』

蒔田 浩平／作 佐藤 真紀子／絵 ポプラ社 913マ

5年の寛仁とマッサーは大の卓球好き。クラスレクでも卓球をやりたいけれど、多数決でいつも人気者グループの推すサッカーをやることに。そこで二人は卓球をやる方法を真剣に考えます。



『桜の木の見える場所』

パオラ・ペレットティ／作 関口 英子／訳
小学館 97ハ

主人公のマファルダは、目の病気によって段々と見えなくなる不安を抱えながらも、今できること、そして将来やりたいことに、あきらめずに挑戦していきます。